

## 学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 <b>48</b> 号	氏 名	水谷 真也
審 査 委 員		主 査 氏 名	浅沼 武敏
		副 査 氏 名	日高 勇一
		副 査 氏 名	七島 篤志
[論文題名]			
Retrospective analysis of canine gallbladder contents in biliary sludge and gallbladder mucoceles			
イヌの胆泥症と胆嚢粘液嚢腫の胆嚢内容物の成分に関する回顧的検討 (The Journal of Veterinary Medical Science, accepted)			
[要 旨]			
<p>イヌの胆泥症と胆嚢粘液嚢腫は別々の疾患であると考えられているが、腹部超音波検査では、重度胆泥症と胆嚢粘液嚢腫が同様の所見を示すことがあり、両者の鑑別が困難である。水谷君は、胆泥症と胆嚢粘液嚢腫の病態生理の解明を目的に胆嚢内容物の成分分析を赤外吸収スペクトル波形にて検討を行った。その結果、胆嚢粘液嚢腫だけでなく胆泥症の胆嚢内容物の主成分のほとんどがムチンであった。また、胆汁中の細菌感染は腸内細菌であり、細菌感染率が低かった。この結果から、胆泥症と胆嚢粘液嚢腫は同じ病態である可能性が考えられた。加えて、胆泥症は胆嚢粘液嚢腫の前段階である可能性が考えられ、胆泥症と胆嚢粘液嚢腫は連続性のある疾患である可能性が示唆された。胆泥症は胆嚢内容物に流動性が認められ、胆嚢粘液嚢腫は胆嚢内容物の流動性が認められない疾患であるため、胆嚢内容物中の水分含有量の違いが胆嚢内容物の性状の変化を起こしている可能性が示唆された。</p> <p>以上の結果は、これまで別の疾患と考えられてきた胆泥症と胆嚢粘液嚢腫が同一の疾患であることを示す知見であり、今後の獣医療に資すると判断され、学位論文に値する成果と判断した。</p>			